

令和7年度
(2025年度)

土木部の取り組み実績

＜部長の方針・考え方＞

誰もが安全・安心に暮らすことができる「人々から選ばれ笑顔あふれるまち」をめざし、道路や公園などの都市基盤整備を着実に進めるとともに、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。

【重点的な取り組み】

- ①子育て世帯も楽しく、安全に過ごせるまちづくり
- ②安全で利便性の高い道路ネットワークの強化
- ③安全・安心で快適な通行空間の実現
- ④持続可能な地域公共交通の維持・確保
- ⑤賑わいとみどりあふれるまちの形成

＜部の構成＞

土木政策課
道路河川整備課
道路河川管理課
道路河川補修課
公園みどり課
交通対策課
用地課

＜主な担当事務＞

- (1)道路及び交通に関すること
- (2)公園及び緑化に関すること
- (3)河川に関すること

重点的な取り組み：子育て世帯も楽しく、安全に過ごせるまちづくり

【施策シート：04-04、04-05、24-01】

子育て世帯も安全・安心に過ごせる都市環境の形成に向け、公園の整備や通学路・未就学児移動経路の子どもの安全対策に取り組みます。

1. 笑顔になれる公園の整備

子育て世帯も楽しく、安全に過ごせる公園づくりを進めるため、子どもがわくわくするような遊具や誰もが使いやすいバリアフリートイレ、日よけとなるような休憩施設等を設置し、子どもの遊び場を充実させます。そのため、令和7年度には車塚公園に大型複合遊具等を設置するなど、市内の主要な公園において順次、整備に取り組んでいきます。

2. 樟葉駅前広場の賑わい創出

道路法の規制を緩和する歩行者利便増進道路制度、いわゆる「ほこみち制度」を活用し、同制度により指定した利便増進誘導区域（芝生広場を含む駅前広場の一部）において、樟葉駅前広場活性化協議会（枚方市歩行者利便増進道路占用予定者選定委員会により選定した占用者）と連携して、持続可能な賑わいの創出と芝生広場などの良好な維持管理に取り組みます。



3. 安全対策

子育て世帯が安全・安心で快適に移動できるまちづくりに向け、子どもの交通安全プログラムに基づき、教育委員会、道路管理者、交通管理者（警察署）と連携し、子どもを守る交通安全対策に取り組みます。また、ベビーカー等を快適に利用できる、歩行空間の確保に向け、中振新香里線の歩道

《ハピネスパーク KUZUHA グラススクエア》

拡幅を行い、高田１１号線歩道整備の設計を継続して進めていきます。さらに、街路樹の適正な維持管理により、安全で快適な歩行空間を維持・形成します。

取り組みの成果を測る指標	令和７年度目標値	令和７年度実績
親子で楽しめる遊び場等の整備に着手する公園数	３公園	２公園

実 績	①公園のあそび場整備事業により、遊具を整備。 <整備した公園件数：２公園> ② 占有者等と連携して、賑わい創出と広場の良好な維持管理を実施。 ③ 子どもの交通安全プログラムに基づき通学路等の安全対策事業を実施。 <177 か所 ※手続き中の事業を含む>
説 明	① 車塚公園と王仁公園に遊具等の整備を行いました。車塚公園では小学生に行ったアンケートにより１番人気の遊具を整備し、王仁公園においては老朽化した遊具更新時に併せて、幼児用やインクルーシブの要素がある遊具を整備しました。令和８年度は王仁公園における「ふわふわドーム」の設置などに取り組みます。 ② 樟葉駅前広場において占有者である樟葉駅前広場活性化協議会等と連携して、夜市イベント、クリスマスマーケット等を実施し、賑わいの創出に取り組みました。 また、広場の占有者及び周辺施設の管理者である京阪ホールディングス株式会社、株式会社京阪流通システムズ、株式会社京阪ザ・ストアと「ハト被害防止対策の実施に関する協定」を締結し、官民一体となって協力して駅周辺に集まるハトの漸減に向けて取り組みました。 ③ 通学路等における路面表示や横断防止柵の設置などの交通安全対策事業を実施するとともに、交通管理者（警察署）による指導も行われました。 令和８年度も関係機関と連携し、着実かつ効果的に子どもを守る交通安全対策に取り組みます。

重点的な取り組み：安全で利便性の高い道路ネットワークの強化

【施策シート：０４―０１、０４―０３】

市内の渋滞緩和や物流の円滑化、災害時における救援活動を支える道路網の強化など、国土強靱化に資する道路ネットワークの強化を進めます。

1. 都市計画道路の整備

本市の道路ネットワークの軸となる都市計画道路のうち、牧野長尾線と長尾杉線については、国道307号から府道交野久御山線までの区間の今年度末の供用開始をめざして、長尾大池区間及び長尾工区の整備を進め、第二京阪道路と国道307号との交差部付近における慢性的な渋滞の緩和を図ります。

また、御殿山小倉線については通学路等の安全な歩行空間の確保に向け、昨年度供用開始した区間に続けて、市道渚中宮線までの区間の整備に向けた検討を進めます。

さらに、淀川を渡河する牧野高槻線、並びに府道京都守口線拡幅部の早期完成に向けて、大阪府との協定に基づき、用地取得業務を進めます。



《道路ネットワーク図》

取り組みの成果を測る指標	令和7年度目標値	令和7年度実績
市事業における都市計画道路の整備率 (都市計画道路の整備延長距離／計画延長距離)	55%	55%

実 績	① 都市計画道路整備事業を推進。 ・牧野長尾線（長尾大池区間）の整備を完了。＜約220m整備済＞ ・長尾杉線（長尾工区）の整備を完了。＜約530m整備済＞ ・御殿山小倉線の設計。＜約420m予備設計済＞ ・中振交野線の用地取得を実施。 ② 都市計画道路牧野高槻線及び府道京都守口線の整備を促進。 ・物件調査を行い、事業用地の取得及び関連する補償を実施。 ＜19筆 3,324.3㎡＞
説 明	① 牧野長尾線および長尾杉線については、昨年度に引き続き整備工事と合わせ事業用地の取得を進め、牧野長尾線（長尾大池区間）・長尾杉線（長尾工区）について令和7年2月25日に供用を開始しました。これにより長尾杉線は全線開通しました。令和8年度は牧野長尾線の全線開通目指して用地取得に取り組めます。 御殿山小倉線については、供用開始区間に続く渚中宮線までの区間の予備設計を完了し、事業認可を取得しました。令和8年度は詳細設計とともに用地の取得を進めます。 中振交野線については、本格供用開始に向けて用地取得作業等に取り組みました。令和8年度は本格整備に向けて設計に取り組めます。 ② 都市計画道路牧野高槻線及び府道京都守口線については、事業範囲内にある建物等の補償金算定を行い、事業用地の取得及び関連する補償を実施しました。引き続き大阪府との協定に基づき、用地取得業務を進めます。

重点的な取り組み：安全・安心で快適な通行空間の実現

【施策シート：01—03、04—01、04—03、04—04、04—05】

本市の道路を安全・安心に利用していただけるよう通行空間の整備や維持管理、並びに警察等関係機関と連携した交通安全啓発にも取り組みます。

1. 通行空間の整備

「枚方市バリアフリー基本構想」等に基づき、高齢者や障害者など誰もが安全・安心で快適に移動できる歩行空間を確保するため、星ヶ丘駅周辺のバリアフリーの設計、並びに踏切道内での視覚障害者の安全な通行の確保に向けた、光善寺下手踏切、光善寺4号踏切、御殿山踏切、星ヶ丘2号踏切のエスコートゾーンの整備を進めていきます。府道枚方高槻線については、大阪府との協定に基づき、令和7年度歩道整備工事予定区間を除いた残区間（延長約330m）の用地取得に向けた測量・境界確定業務を進めます。また、交野久御山線についても大阪府との協定に基づき、用地取得に向けた測量等作業に早期に着手できるよう、大阪府や交野市と連携して取り組みを進めます。

「枚方市自転車活用推進計画」等に基づき、安全で快適な自転車通行空間の確保に向け、牧野本町第1号線他2路線、牧野長尾線及び長尾春日線については整備に取り組み、長尾船橋線、禁野枚方線については次年度以降の整備に向けた検討を進めます。

2. 交通安全啓発と駐車場経営

めいわく駐車、放置自転車対策を推進し、安全・安心で快適な通行空間の確保に取り組むとともに、企業版ふるさと納税を活用したラッピングバスを用いて「信号のない横断歩道での車両ストップ率の向上」に向けた啓発を継続するなど、本市から発信する交通安全教育に係るコンテンツを増やすことで、交通ルールとマナーの定着を図り、交通事故防止に繋げていきます。加えて、自転車乗車中の事故による被害の軽減を目的に警察や枚方交野交通安全協会とともに自転車ヘルメットの購入支援に取り組みます。

併せて、自動車・自転車駐車場及び自転車保管場所の管理運営については、サービス等の提供を安定的に継続して提供できるよう経営健全化の取り組みを進めます。



《自転車ヘルメットの補助》

3. 道路の維持管理の推進

道路は市民生活や経済活動を支えるインフラ施設として重要な役割を担っていますが、時間の経過とともに舗装等の劣化が進行するため、安全・安心な道路交通を支えるためには施設を適切に維持し、必要に応じて補修していくことが重要です。

このため、幹線道路については計画的に維持管理を行う予防保全型、生活道路については事後保全型を基本として維持補修を進め、道路陥没など緊急性が高い補修箇所については両道路ともに市職員が現場に急行し応急対応を行います。特に、災害時に緊急車両等の通行経路となる緊急交通路を含む主要道路については、舗装長寿命化計画やリフレッシュ整備事業計画に基づき、予防保全型の舗装補修を行うことで長寿命化を図るとともに維持管理コストを削減しながら、効率的・効果的な維持管理に取り組みます。

4. 職員による迅速な補修等の維持管理への対応

市民の安全・安心を第一に考え、道路及び準用河川などの安全性や機能を確保できるよう、異常や支障箇所の早期発見を目的に、関係機関とも連携しながら、定期的なパトロールを継続して行い、直営による迅速な補修を実施するなど、効率的・効果的な維持管理に取り組めます。



《道路陥没の復旧作業》

取り組みの成果を測る指標	令和7年度目標値	令和7年度実績
各年度における歩道の設置延長距離 (各年度における市道の歩道設置延長距離)	1,306m	554m

実 績	① 御殿山踏切、星ヶ丘2号踏切のエスコートゾーンの整備を実施。 ② 府道枚方高槻線の整備を促進。用地取得に向けた測量・境界確定業務を実施。 ③ 自転車乗車用ヘルメット購入費補助を実施。＜補助実績1,678個＞ ④ 自転車駐車場及び自動車駐車場の使用料並びに自転車保管場所の手数料の見直しを実施。(令和8年10月1日施行) ⑤ 市内一斉の道路パトロールを実施。 ＜実施回数：2回(6月・12月)、道路損傷箇所件数113件＞ ⑥ 橋梁点検を実施。＜点検数：30橋＞ ⑦ 「枚方市舗装長寿命化修繕計画」に基づき、修繕工事を実施。 ＜工事：12路線(延長約3,813m)＞ ⑧ 道路補修及び公園等に対する通報・要望等に対応。 ＜対応した道路補修等の件数：2,507件＞
説 明	① 御殿山踏切、星ヶ丘2号踏切のエスコートゾーンの整備を実施しました。令和8年度は光善寺4号踏切の整備を順次進めます。 ② 府道枚方高槻線については、令和7年12月に大阪府により一部区間(延長約120m)の歩道整備が完了し、残区間(延長約330m)の用地取得に向けた測量・境界確定業務を進めました。引き続き大阪府との協定に基づき、用地取得に向けた物件調査等業務を進めます。 府道交野久御山線についても大阪府との協定に基づき、用地取得に向けた測量等作業に着手できるよう、大阪府や交野市と連携して取り組みを進めました。 ③ 枚方警察署、交野警察署及び枚方交野交通安全協会と連携して、自転車乗車用ヘルメット購入費補助を実施しました。 ④ 受益と負担の公平性の確保を図るため、自転車駐車場及び自動車駐車場の使用料並びに放置自転車等の移送や保管に係る手数料の見直しを行い、令和7年12月に関係条例等を改正しました。 令和8年10月1日から実施する料金改定について、今後も市民や利用者への

	周知徹底に努めます。 ⑤ 安全で安心して道路を利用していただけるよう、市内一斉の道路パトロールを実施し、認定道路および市管理道路の異常、支障箇所の応急対応を行いました。令和8年度も定期的なパトロールを実施し、迅速な対応に取り組みます。 ⑥ 「枚方市道路長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の異常、支障箇所を早期に発見するため、定期点検を実施し、異常はありませんでした。 ⑦ 「枚方市舗装長寿命化修繕計画」に基づき、枚方藤阪第2号線他11路線の修繕工事を行いました。令和8年度も引き続き、持続可能な維持管理を推進します。 ⑧ 道路や公園、準用河川などの機能や安全性を確保するため、パトロールや通報・要望等に基づき補修等を行いました。特に、利用者の安全に影響のある損傷等については、夜間・休日を含め迅速に現場を調査し、直営施工にて危険回避のための緊急対応を行いました。
--	---

重点的な取り組み：持続可能な地域公共交通の維持・確保

【施策シート：05—01】

人口減少や少子高齢化に加え、コロナ禍を契機としたライフスタイルの変化により公共交通利用者の減少が進む中、市民の誰もが移動しやすい活力のある社会生活を維持・充実させていくため、引き続き、地域公共交通を使いやすく、また使いたくなるように、地域公共交通の環境整備に取り組みます。

1. 共助版ライドシェアの支援拡充

それぞれの地域にあった交通サービスを確保するため、交通に対する意識の醸成や機運の向上に向けた勉強会や出前講座を実施し、地域自主運行型コミュニティ交通事業の構築に地域と協働し取り組みます。その一つである共助版ライドシェア（旧ボランティア輸送）についても、支援を拡充して取り組んでいきます。

2. シェアサイクルの普及促進

「枚方市総合交通計画（R7.3改定）」における短距離移動手段の導入を促進するため、市内の拠点を中心とした回遊性の強化や公共交通の補完・公共交通の利用促進に資するラストワンマイルの移動手段としてのシェアサイクルの有効性を検証するため、公民連携による実証実験に取り組みます。



《シェアサイクルの実証実験》

3. 公共交通の利用促進と維持の支援

交通タウンマップを定期的に更新し市内転入者等に配布するとともに、子どもを対象に、公共交通としてのバスの役割や魅力、並びに緊急時の対応や安全確保策などバス運行を支えるバス事業者の取り組みを学び、将来の公共交通を支える人材育成として、こども夢基金を活用したバックヤードツアーを開催するなど、引き続き、公共交通を利用する機会の増加を図ります。

さらに、バス路線の減便や廃線の原因である運転手不



《バックヤードツアー 車いす体験》

足解消に向け、国、大阪府、寝屋川市、交野市、ハローワーク枚方、交通事業者等と連携した採用セミナーを開催するなど、公共交通従事者の確保に取り組めます。

取り組みの成果を測る指標	令和 7 年度目標値	令和 7 年度実績
公共交通利用促進啓発イベントの参加者数（単年度）	300 人	302 人

実 績	① 枚方市ボランティア輸送補助金を交付。＜1 団体＞ ② 枚方市ボランティア輸送補助制度を拡充。 ③ シェアサイクルポートを、市内の公有地等に設置。＜ポート数：89 か所＞ ④ 「ひらかた交通タウンマップ」を配布。＜印刷部数：10,000 部＞ ⑤ 「バス！のってスタンプラリー」及び「バスバックヤードツアー」を実施。 ＜合計参加者数：302 人＞ ⑥ 「バス運転士職業理解セミナー」を実施。＜参加者数：24 人＞
説 明	① 令和 7 年度も引き続き氷室台地区の団体に、ボランティア輸送補助金（令和 3 年 4 月に制度創設）を交付しました。 ② ボランティア輸送補助金について、共助版ライドシェア補助金に名称を改め、補助金額の増額や運転者人件費も助成するなど支援の拡充を行いました。 ③ 市内の拠点を中心とした回遊性の強化や公共交通の補完・公共交通の利用促進に資するラストワンマイルの移動手段としてのシェアサイクルの有効性を検証するため、公民連携による実証実験に取り組みました。 ④ 本市の地域情報及び公共交通の情報を掲載した「ひらかた交通タウンマップ」を作成し、市内の公共施設に配架するとともに、市内転入者等へ配布しました。 令和 8 年度も「ひらかた交通タウンマップ」の配布を通じて、公共交通の利用促進を図ります。 ⑤ 公共交通の利用促進を目的とした「バス！のってスタンプラリー」（令和 7 年 11 月 29 日）及び公共交通サービスの維持を図る「バスバックヤードツアー」（令和 8 年 1 月 24 日・25 日）を N P O 団体や交通事業者と連携して実施しました。 「バス！のってスタンプラリー」では、市内各施設を巡りながらバスの利便性に加え、観光資源についても周知を図るとともに、「バスバックヤードツアー」では、京阪バス株式会社枚方営業所において、普段見ることのできないバスのジャッキアップや洗車などの見学体験を通じて、路線バスの現状や魅力を P R しました。 令和 8 年度も関係機関と連携し、より多くの市民参加を促進できるよう、効果的な周知に努めます。 ⑥ 国府、近隣市、ハローワーク枚方と連携した「バス運転士職業理解セミナー」を実施し、バス運転士の確保に取り組めました。

重点的な取り組み：賑わいとみどりあふれるまちの形成

【施策シート：24—02】

都市の魅力向上につながる、賑わいとみどり豊かな都市環境の形成や、市民にとって利用したいと思える公園や街路樹等の整備・再生、緑化の推進を図ります。

1. 公園施設の維持管理と小規模公園の活性化

公園施設を安全に安心して利用していただけるよう、公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用して予防保全型の維持管理を計画的に実施し、維持管理コストの縮減と施設の長寿命化を図ります。さらに、職員によるパトロールや地域からの要望により随時維持補修を行う事後保全型の維持管理を併せて実施することにより、効率的・効果的な維持管理を進めます。



《鉄棒遊具不良に伴う補修作業》

また、公園駐車場の目的外利用や長時間利用などの管理上の課題に対応するとともに、受益者負担の適正化などを図るため、東部公園と香里ヶ丘中央公園の駐車場について、有料化を進めます。

少子高齢化の進展などにより、利用者の減少や施設の老朽化などの課題が顕在化している小規模公園については、近隣住民のニーズに寄り添った公園となるように地域との協働の下、公園の活性化を進めます。

2. 緑化の推進と菊（市の花）への愛着意識の醸成

「2025緑化フェスティバル」を開催し、市民へのみどりに触れ合う場の提供とまちなかの緑を育てる取り組みを進めます。また、引き続き、福祉関係施設や学校園等で育てた花苗などを身近な公園に植栽する「花いっぱい健康づくりプロジェクト」や緑化講習会を実施し、更なる緑化の推進に取り組みます。

また、「枚方市菊花展」や「菊フェスティバル」、並びに職員による菊づくりや市民講座などを通じ、市の花である菊への更なる愛着意識の醸成を図ります。

3. 街路樹の維持管理・整備の推進

枚方市の街路樹は、植栽後40年以上が経過している木々が増加しており、大木化・老朽化が進行しています。一方で、高齢化の進行等による誰もが安心して利用できる歩道等のバリアフリー化の必要性の高まりや台風等自然災害の激甚化・頻発化による倒木等の発生、街路樹に対する市民意識の多様化など、街路樹を取り巻く環境も大きく変化しており、このような変化に伴う様々な課題に対応できるよう、枚方市街路樹維持管理方針に基づき、街路樹の適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路空間を維持・形成します。

また、道路整備等においては、街路樹の整備を検討するなど、市道の緑化推進に取り組みます。

取り組みの成果を測る指標	令和7年度目標値	令和7年度実績
各年度における街路樹延長距離	858m	858m

実績	① 「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設更新工事を実施。 ＜工事：4公園＞
----	--

	② 緑化推進に向け、以下の取組を実施。 ・花いっぱい健康づくりプロジェクト＜市内福祉関係施設等2施設で実施＞ ・花いっぱい運動＜公園：63公園、学校園：27団体＞ ・公園アダプト＜213公園、169団体＞ ③ 「枚方市街路樹維持管理方針」に基づき維持管理を実施。 ・直営・委託業者により随時危険木の撤去を実施。 ④ 都市計画道路整備事業を推進（再掲） ・牧野長尾線（長尾大池区間）の整備を完了。＜約220m整備済＞ ・長尾杉線（長尾工区）の整備を完了。＜約530m整備済＞
説 明	① 「枚方市公園施設長寿命化計画」に基づき、4公園の更新工事を行いました。令和8年度も引き続き、施設の老朽化等による事故の未然防止を図るため、計画的に工事及び実施設計を進めます。 ② 緑化推進を主体的に担っていただけるよう市民意識の醸成と持続的な活動につながる担い手の育成を図りました。市民や市民団体、事業所など多様な主体と連携し、持続可能で効果的な緑化に向け、「緑化フェスティバル」や「菊花展」並びに市民講座を開催するとともに新生児誕生記念苗木の配付を行い、市民参加による緑化推進や緑化活動の場の提供を行いました。 「花いっぱい健康づくりプロジェクト」では、市内福祉施設で育てた花苗を近隣の公園に植え付け、地域の緑化推進の充実を図りました。 令和8年度も引き続き活動実施に向け、地元にはアダプト・花いっぱい手続き等のソフト支援を継続していきます。 ③ 「枚方市街路樹維持管理方針」を令和6年3月に策定し、市内にある約5,100本の高木街路樹について、剪定委託業者や直営による点検パトロールを行い、倒伏や落枝の恐れがある危険木や枝を撤去しました。植樹柵や歩道舗装の根上がりが発見された際は、即時復旧しました。今後も引き続き安全な通行空間の確保に努めます。 ④ 牧野長尾線および長尾杉線については、昨年度に引き続き整備工事と合わせ事業用地の取得を進め、牧野長尾線（長尾大池区間）・長尾杉線（長尾工区）について2月25日に供用開始をしました。（再掲）